

会議議事録（要旨）

1 会議名	令和4年度 第4回 長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	令和4年11月22日(火曜日) 午前10時00分から
3 開催場所	フェニックス大手イーストまちなかキャンパス 3階 301会議室
4 出席者名	若月会長、佐野副会長、中山(謙)委員、小川委員、田中委員、松木委員(代理：布川様)、中川委員(代理：大石様)、山本委員、中山(精)委員、玉巻委員(代理：高橋様)、高木委員、横澤委員 【欠席】吉田委員、高橋委員、瀧澤委員、島谷委員
5 協議事項	(1) 長岡市地域公共交通計画策定について
6 協議結果の概要	・協議事項(1)について、地域公共交通計画の素案を確認し、特に大きな指摘はなかった。
7 審議の内容	
【その他】	委員の交代について
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会の小林委員から横澤委員に交代。 ・本協議会の役員について、監査員は小林委員から横澤委員へ交代することが承認された。
【協議事項】	(1) 長岡市地域公共交通計画策定について
事務局	資料に基づき、協議事項(1)について説明。 (以下、質疑応答)
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標3の長岡市の財政負担額について市民1人あたりの財政負担額が622円は少ないと感じた。少ない予算でベストを尽くすこともよいと思うが、622円であれば例えば倍増して、より効果的なことができると思った。この会議だけで決められることではないが、財政負担を上げる検討も今後必要ではないかと感じた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市では行財政改革プランを進めているなかで難しいところではあるが、計画を進めながら今後検討していきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば中山間地域から路線バスを乗り継いで利用する場合、出発地から最終目的地まで一括で運賃を支払うことは難しいのか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスやベビーカーを利用する人は、バスで移動できる環境なのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り継ぎ割引について、今のところ考えていない。今後 IC カードの導入があった場合はできるかもしれないが、現金や回数券での乗り継ぎ割引の実現は難しいと考えており、今後の検討課題としたい。 ・車イスやベビーカーの利用について、ノンステップバスが普及しており、車両にスロープも付いているため、利用の際は乗務員がスロープを出して対応している。しかし、ノンステップバスが 100%普及しているわけではないため、ノンステップバスでなかった場合は、次のバスを利用していただく等、別の手段を考えていただきたい。なお、車内での転倒事故を防ぐことから、車イス等は固定しなければならないため、スロープのないバスでの車イス利用ができない可能性がある点はご了承ください。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・低床バスの普及率はどのくらいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 4 月現在、約 7 割の導入率である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市でも低床バスの導入を支援するための補助金があり、事業者の導入スケジュールに合わせて支援したいと考えている。
【その他】 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に電気バスの運行開始を予定している。11 月上旬にデモカーが来て乗務員訓練等を行った。今後については、中国で生産されたバスが日本に入り、宮城県で架装等を行った後、2 月に新潟県入りしナンバー登録を行い、3 月から運行開始予定。環境に配慮したバスが求められているなかで、市内循環バスで運行し、皆様にご利用していただきたい。 ・先日メディアで運転士不足の記事が掲載されていたが、運転士不足は以前からの課題であり、解消するどころか高齢運転士が次々と退職している。サービスレベルを落とすことはできないが、利用が少ないバスについては 2 本を 1 本にまとめるなど、できるだけ迷惑をかけないようにサービスを維持していこうと考えている。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・運転士の確保が難しい状況にあるが、今回の地域公共交通計画においても課題として挙げており、バス会社やタクシー会社と話し合いながら対応していきたい。 ・電気バスについては、長岡市からも支援しており、来年の3月頃にはお披露目したいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスが公共交通の大部分を担うなかで、細かいところは今後タクシーが担い、通院や買い物等の支援をしていかなければならない。そのためにも人材確保に向けたPRをするとともに、質のいいタクシー会社にし、生き残ることがタクシー会社に求められていることだと考えている。 ・静岡県のタクシー会社で、車両も10台ほどと小規模な会社であるが、タクシーの乗り放題を行っているところがある。国内で定額運賃タクシーをやっている地域はいずれも実証実験であるが、今後は必要になってくると考えている。今回の計画にも記載がある買い物タクシーであれば、例えば月8000円を支払って特定地域内で乗り放題というやり方がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ2,3年は新型コロナウイルスの影響で高齢者が外に出る機会が減少した。また、イベントを中止したケースもたくさんあったが、今年は会合等の時間を短くしたり、飲食を伴わない形で実施でき、今後の活動の活発化に結び付くのではないかと思う。しかし、感染拡大を気にしている方も多く、これまでの参加数には届いていない。また、今までは車に人を乗せて会場まで来ていたが、高齢者の運転事故が多いなかで、人を乗せることを嫌がる人が増えてきており、参加を躊躇する人や相乗りを依頼しにくい環境もあるのではないかと感じている。 ・足の弱さや家の事情等もあると思うが、以前よりタクシーで買い物に行く人が増えてきたと感じる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議に参加しており、そこでは子育て世代はマイカーで移動する人が多いのか、公共交通に関する要望はなかった。しかし、マイカーで移動できない人もいると思うので、子育て世代の要望も把握していくことが必要だと思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・定額運賃タクシーはコストがかからない場合のみ有効だと思っていた。例えば、車両1台という限られた資源で地域内を回るとすると、それが制約となっていていつでも利用できるわけではなくなる。しかし、ある程度の移動手段を確保できると考えられる。 ・必要なことのみを供給しているだけでは便利になるとは限らず、例えば定額運賃タクシーをやることで新規利用者が生まれればよいと思う。予算を増やしてまで実施とは言わないが、長岡でも特性に応じて実施することは不可能ではないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域限定とするのではなく、各地域に車を張り付けて会員制の予約制で実施することは可能であると考えている。小さな成功体験を求め、やってみる価値は十分あると思う。 ・通院と買い物で利便性を実感してもらうことが大事であると考えている。ある地域で買い物を支援するモニターツアーを2回実施したところ、およそ200人が住んでいる地区で7人ほどが参加し、評判がよかった。町内会・利用者・タクシー会社・行政が一体となって実証実験をお願いしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・定額運賃タクシーのご意見は、高齢者や子育て世代における課題の解決策にもなるのではないかと。今後、関係者と議論しながら深めていきたい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社からGPSデータをいただき、分析をした。仮に前日までにすべての移動を予約できるという仮想の状況で行った場合、利用者を迎えに行き目的地まで送るというタクシーの三角形の移動の間に次の人を拾うなどすることで、3分の1ほど無駄な動きを削減でき、約3割コストが下がる。さらに買い物や通院利用の時間を前後させたり、相乗りができればより効率化を図ることができる。実現できれば、ドライバーの生産性も向上し、給料も上がり、人材確保にもつながることが想定される。旧来ではなく、ITの活用、相乗りや時間をずらすなど行えば、費用も下がってくるので、今まで乗れなかった人が乗れるようになることも考えられる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車を歩道脇に駐輪してるのは景観上よくない。どこかに駐輪場をまとめてほしい。 ・自家用車から公共交通への転換とあるが、市民に対して公共交通の利用促進のアピールが伝わっていないと思う。市民1人ひとりに伝わるようなPRをするとよいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場について、昨年度、大手通りでの歩道駐輪に対して路面表示を行うとともに、地下駐輪場へ誘導する実証実験を行った。再開発事業などの状況をみながら今後検討していく必要があると考えている。 ・公共交通利用促進のアピールについて、さまざまな施策を実施しているところではあるが、今後ご意見もいただきながらより効果的なやり方を模索していきたい。
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に長岡市議会にて素案を説明する。 ・1月にパブリックコメントを実施する。 ・2月の第5回長岡市公共交通協議会において、計画の最終案を提示する。 ・細かい表現等の修正については事務局に一任くださるようお願い申し上げます。

■協議会の様子

